

保育者研修シリーズ

- 園内研修資料として最適
- 保育の見直しに役立つ

新しい保育の考え方による保育技術の実践書で、中堅保育者としてこれだけは身につけておきたい保育方法が分かり、保育全体が見通せるようになる。中堅保育者の保育の見直しにも最適。

日常、保育現場で起こる疑問や迷いを、子ども理解、子どもの生活と計画、援助、環境など四種類に分け、それぞれに実践例をつけて問題点に答えたもの。子どもと保育の基本がよく分かる。

① 子ども理解のポイント

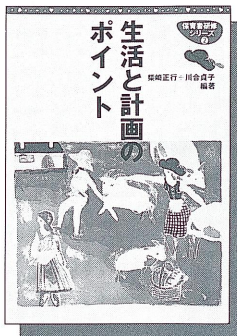


保育は子どもをよく知ることから始まる。子どもの生活の理解、育ち合いの理解、発達の理解、関係の理解などに視点を当てベテラン保育者が実践事例をそえて子ども理解のポイントを示したもの。

柴崎正行＋今井和子 編著

B5判・128頁・定価 2,000円 (本体 1,942円)

② 生活と計画のポイント

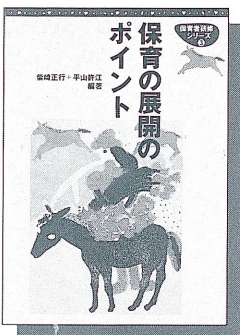


保育計画の作成、計画と実践の見直しをはじめ、教育過程の編成までを書きやすい記録づくり、使いやすい計画づくりに焦点をあてて生活に合わせた計画作りを解説したのも。子ども中心の保育への見直しに役立つ本。

柴崎正行＋川合貞子 編著

B5判・136頁・定価 2,000円 (本体 1,942円)

③ 保育の展開のポイント



保育実践でむずかしいとされている援助の仕方やタイミングについて解説したもので、子どもの気づきや工夫、発想を生かした展開を中心に園生活の流れにそった展開方法をまとめたもの。子どもをいきいきと生活させる保育の見直しに役立つ。

柴崎正行＋平山許江 編著

B5判・168頁・定価 2,000円 (本体 1,942円)

④ 地域との連携のポイント



子どもの成長は環境の生かし方によって大きく左右される。保護者との信頼関係、保護者の要望と悩み、地域との信頼関係、地域の行事、環境、人材の生かし方、保育者間の連携など、地域に開かれた園づくりのポイントが分かる本。

柴崎正行＋小田 豊 編著

B5判・146頁・定価 2,000円 (本体 1,942円)

キンダーブックの
フレール館